



## Press Release

### ロングリーチグループ 第3号ファンドを6.5億ドルで設定完了

【東京 / 香港 2019年3月29日】 独立系投資会社ロングリーチグループ(以下、ロングリーチ)は、第3号ファンド (Longreach Capital Partners 3, L.P.) を3月29日付けで設定完了致しました。クロージング金額は6.5億ドルです。

日本や米国、カナダ、アジア、そしてヨーロッパと世界各地より高い関心をいただき、年金基金、ソブリンファンド、金融機関、大学基金、そしてファンド・オブ・ファンズと多様で有力な投資家の皆様からのコミットをいただくことができました。また、第2号ファンドより投資頂いている皆様からは、非常に高い割合で引き続いでいるコミットをいただきました。

第3号ファンドでもロングリーチは、日本および関連する中華圏において、得意とする産業テクノロジー分野、ビジネスサービス分野、コンシューマ分野等を中心に、コントロール・バイアウト投資に注力してまいります。また、これまでのファンドで数々の実績を持つ大企業からのカーブアウトにも引き続き注力し、アジア展開を含むポートフォリオ企業の成長および業績改善支援を推進してまいります。かかる戦略に沿って、第3号ファンドではすでに2件の投資実行、および3件目の投資の契約調印を完了いたしております。

ロングリーチ会長兼パートナーのマーク・チバは次のように述べています。「ロングリーチの全チームメンバーにかわって、過去の2つのファンドからの変わらないご支援を頂いている投資家の皆様、そしてこの度新たに我々を信頼してくださった第3号ファンドより参加された投資家の皆様に心より感謝を申し上げます。」

###

#### 報道関係者からのお問い合わせ

リサ・ヘルレル +852-3175-1737 / herrell@longreachgroup.com

#### ロングリーチグループについて (URL: <http://www.longreachgroup.com/>)

ロングリーチグループは、日本における戦略的プライベート・エクイティ投資を目的とした事業支援投資会社です。対象分野としては、日本における産業テクノロジー、コンシューマー関連、ビジネスサービス、金融サービスの各分野が中心となります。また、共同投資分を含め合計で約21億ドル規模の3ファンド(第1号・第2号・第3号)を運営しており、過去これらのファンドを通じて、様々な投資案件を手掛けてきた実績を有しております。

ロングリーチグループは、投資主体となるファンド並びに香港拠点のロングリーチグループ・リミテッドおよび東京拠点の株式会社ロングリーチグループにより構成されるグループです。東京拠点の株式会社ロングリーチグループは、日本およびアジア市場に関するデータや情報を収集し、投資ファンドが投資案件の発掘調査を行うためのコンサルティング業務を提供しています。

ロングリーチグループは、投資先企業の皆様との信頼関係を基に多様なソリューションを提供することを通じて、企業価値の創出に積極的に取り組んでまいります。